

マーケットの動き（2024年9月17日～9月20日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。週初は、堅調な需要に支えられ国内金利は低下しましたが、米国で18日にFOMC（米国連邦公開市場委員会）が利下げを決めた一方で、利下げペースが市場期待に比べ緩やかになるとの見方から、米国金利上昇の流れを受け上昇しました。また、日銀は20日の日銀金融政策決定会合で金利を据え置きましたが、利上げを続ける方針を示したことから長期金利は上昇しました。クレジット市場は堅調に推移しました。

投資環境見通し（2024年9月）

国内長期金利は徐々にレンジを切り上げる動き

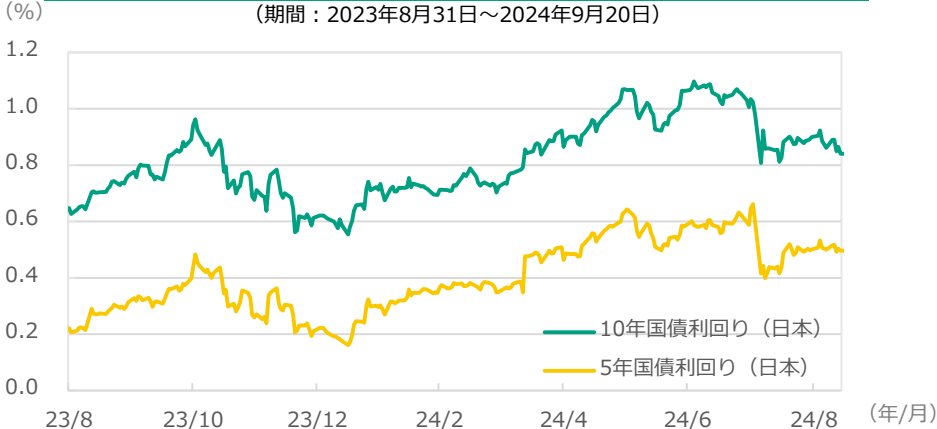
日銀が利上げの決定とともに追加利上げに対しても前向きな姿勢を示した後、8月初めには国内株式相場が急落したことから、国内長期金利はレンジの上限を一旦切り下げたとみられます。しかし、国内株式相場が落ち着きを取り戻すにつれて、追加利上げ観測が再び高まる可能性もあり、国内長期金利は徐々にレンジを切り上げるとみています。

	9月20日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.86	0.02	▲0.03	0.12	0.13
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	361.85	▲0.28%	0.23%	▲1.22%	▲1.20%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202409_outlook.pdf

日本国債利回りの推移



NOMURA-BPI総合指数の推移



※2023年8月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>